

# 和気満堂

真志喜中学校だより  
第10号  
令和8年1月9日

心豊かに 教育目標  
自ら学び たくましく  
国際社会を生きる 生徒の育成  
心を鍛える・頭を鍛える・体を鍛える

## あけましておめでとうございます

### 「短い3学期を「次の学年への学期」に」

新年あけましておめでとうございます。保護者・地域の皆様におかれましては、希望に満ちた令和8年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

11日間の冬休みを無事に終え、1月5日(火)から第3学期が始まりました。生徒たちは元気に登校し、友達や先生との再会を喜ぶ笑顔が見られました。始業式では、3学期の過ごし方について次のような話をいたしました。

今年は60年に一度の「丙午(ひのえうま)」の年です。「丙」は燃え盛る炎や太陽、「午」は力強く駆ける馬を表し、「情熱を持って理想に向かって力強く進む年」と言われています。新しい年のスタートにあたり、この勢いを大切にしてほしいという思いを伝えました。

あわせて、3学期の大きな特徴として「期間が非常に短い」ことを生徒へ伝えました。登校日は1・2年生が52日、3年生は45日しかありません。あつという間に過ぎてしまうからこそ、一日一日をより大切に過ごすことが重要です。そこで3学期を一年のまとめだけの学期とらえるのではなく、「次の学年につながる〇学期」と考えて過ごしてほしいと話しました。今のうちから生活習慣や学習習慣を整え、苦手の克服や基礎の見直しに取り組むことが、4月から力強いスタートにつながります。

特に3年生にとっては、この3学期は中学校生活の総仕上げであり、高校入試や進路実現に向けた大切な時期です。受験という壁を乗り越え、新しい世界へ大きく羽ばたくための滑走路となる学期です。一人で抱え込みます、仲間と支え合いながら、一日一日の努力を積み重ねてほしいと願っています。

### 2学期の反省を今後に

2学期の終業式では、各学年おより生徒会の代表によるあいさつがあ

きましては、進級を見据えた準備期間となります。4月には新入生を迎えるが、そのまどめだけの学期とらえるのでなく、「次の学年につながる〇学期」と考えて過ごしてほしいと話しました。今のうちから生活習慣や学習習慣を整え、苦手の克服や基礎の見直しに取り組むことが、4月から力強いスタートにつながります。

1・2年生につきましては、進級を見据えた準備期間となります。4月には新入生を迎えるが、そのまどめだけの学期とらえるのでなく、「次の学年につながる〇学期」と考えて過ごしてほしいと話しました。今のうちから生活習慣や学習習慣を整え、苦手の克服や基礎の見直しに取り組むことが、4月から力強いスタートにつながります。

1・2年生につきましては、進級を見据えた準備期間となります。

**【3学年代表 石籠理央】**



2学期は将来について考える中で不安を感じることもありましたが、友達と励まし合い、先生方や家族に支えてもらしながら、一歩ずつ前に進むことができました。3学期はよいよ受験・卒業を迎えるので、一日一日を大切にしたいです。

**【生徒会代表 栄紗弥】**

2学期はさまざまな生徒会行事や活動を通して話し合うことの大切さや、集団行動の難しさと楽しさを知ることができました。3学期は、課題としている身なりの改善や、さつ運動などに取り組みたいです。

1月の主な行事

12月(月)成人の日  
16日(金)英語検定  
20日(火)～23日(金)三者面談  
20日(火)県立高校WEB出願開始  
26日(月)～30日(金)願書点検  
30日(金)県立高校WEB出願〆切  
30日(金)新入生入学説明会

りました。3学期・次の学年へつながる決意の言葉を以下に紹介します。

### 【1学年代表 仲里悠士】

2学期の課題は、友達同士の小さなトラブルでした。3学期はこれをなくすため、自分の気持ちだけでなく相手の気持ちも考えて行動し、学年全体の絆を深めていきます。

### 【2学年代表 玉城颯大】

2学期実施された修学旅行と合唱コンクールで培った経験や友情を生かし、3学期は進路に向けて学習に真剣に取り組みたいです。

宝探しでは、校内に隠された数百個のリボンをクラス全員で手分けして探し出し、見つけた瞬間にはあちこちで歓声が上がりました。謎解きでは、資料やスライドを見ながら相談し、知恵を出し合つて答えを導こうとする姿が見られました。体を動かす活動と頭を使う活動を組み合わせたことで、どの学級も楽しみながら参加することができました。

今回のレク大会は、生徒会役員を中心にして企画から準備、当日の運営までを生徒自身が担いました。安全面や動線の工夫、説明動画やタイムスケジュールの作成等、多くの準備を重ねてきました。「全校生徒に楽しんでほしい」という思いを形にした姿は、たいへん頼もしいものでした。行事を「やつてもらう側」から「つくる側」へ。子どもたちの大きな成長を感じる行事となりました。今後も主体的に取り組む活動を大切にしてまいります。ご家庭の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

解きに挑戦しました。